

平成21年度 予算

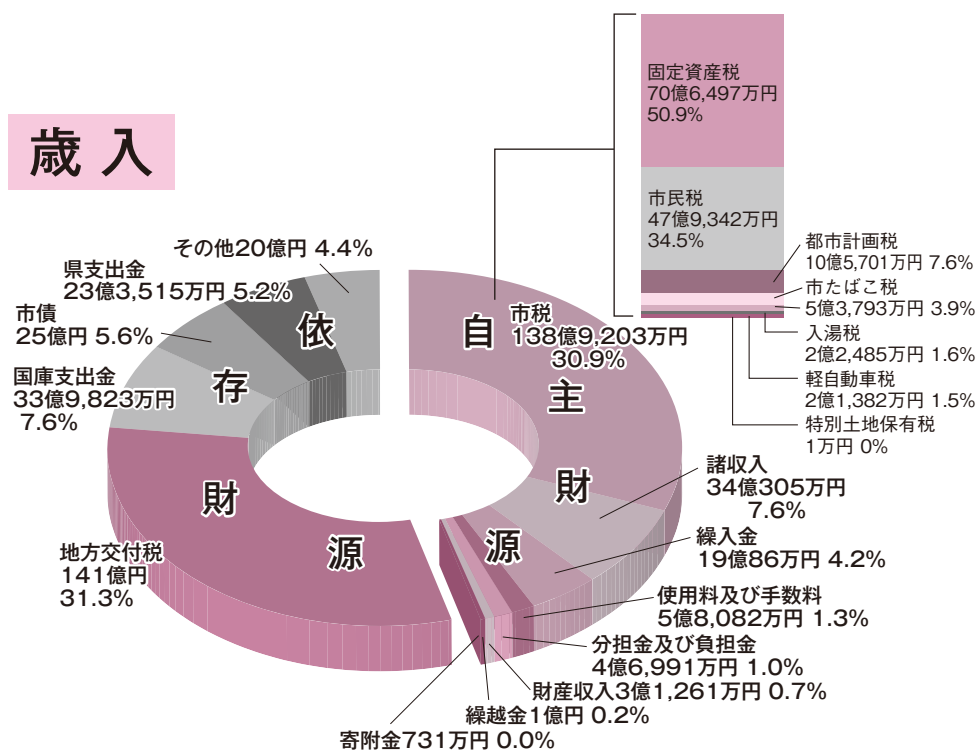
暮らしを支える 安全・安心の施策推進

総額713億422万円のあらまし

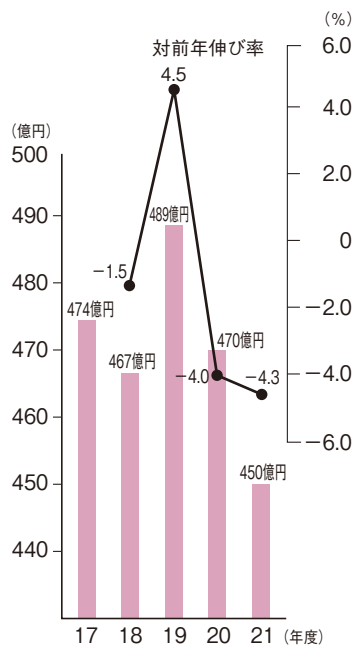
市では、3月2日に開会する高山市議会定例会に一般会計450億円、特別会計・企業会計263億円の平成21年度予算案を提案します。

市町村合併から5年目となる節目の年を迎えた21年度は、第七次総合計画「前期基本計画」の総仕上げに向けた重要な年になります。特に人口減少・少子高齢社会を迎え、子育て環境の充実などを重点に、一層の市民福祉の向上と一体感のある地域づくりを進めます。

歳入



●一般会計当初予算の推移



平成21年度は、高山市第七次総合計画「前期基本計画」の総仕上げに向けた重要な年となります。今年度の予算編成にあたっては、高山市の将来都市像である「やさしさ」と活力にあふれるまち「飛騨高山」を目指し、誰もがやさしさを実感し、安全で安心して快適に暮らせるユニバーサルデザインの視点に立ったバリアフリーのまちづくりを進めていくこととしています。特に、子育て環境の充実や、防災、環境対策、産業の活性化対策、教育環境の整備など、市民

これらの使い道を取りまとめた冊子が「予算書」と呼ばれるもので、市長が予算案を作成し、市議会がそれをチェック・審議して決定します。**前期基本計画の総仕上げの重要な年に**

高山市の会計には、税金や国・県からの交付金・補助金、市債などを財源として、全般的な行政の経費を扱う「一般会計」と、特定の事業を進めるため、使用料など特定の収入を充てて独立した経理を行う「特別会計」「企業会計」があります。

**3つの種類がある
高山市の予算**